

# 「この1冊」と人生

徳島大学附属図書館館長

青 江 順 一

(工学部知能情報工学科教授)

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。いよいよ大学生としての生活が始まります。高校の勉強と大学の勉強の違いは、たぶん「自主性」にあります。大学は、ある意味で自由で、勉強しなければ落第しますし、勉強すればどんどん偉くなります。その差は4年後には明確に現われます。勉強は他人から強制されて行うものではなく、自ら楽しみながら行うもので、その基本は疑問を持つことです。なぜ自分はここに居るのか？という哲学的な問いから、この料理はどのようにして作るのだろうか？などの身近な疑問まで様々な疑問を持つことが、勉強を楽しくしてくれるでしょう。もちろん、講義についても同様です。疑問を持つと、自然にその答えが欲しくなります。その答えを得ようとする行為がまさに勉強ということだと思います。では、どのようにして疑問についての答えを得ることができるのでしょうか？それには大きく分けて、2つの方法があります。「すでに答えのあるもの」については、その答えが書いてある本を読むことでしょう。「答えのないもの」については、自分で経験や実験などをして、答えを探すしか方法はないでしょう。しかし、いずれの場合にも、疑問に関連する知識をまず得ることが必要で、そのためには読書が不可欠です。目の前にある疑問に直ぐに答えが必要な場合もあるでしょうし、答えに到達するためには、長い時間が必要な場合もあるでしょう。いずれにしても、興味のあることについて疑問を持ち、この本を参考に適切な本を選択して読書しておくことは皆さんの心を豊かにしてくれると思います。知識を学習することに加えて、心が豊かになる大学生活を送ってください。